

(3) 歳出決算の状況

平成24年度 一般会計歳出決算状況

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/A)	支出済額の 構成比	平成23年度		対前年度比較	
							支出済額 (D)	構成比	増減額 (E=B-D)	増減率 (E/D)
1 議会費	996,379,000	946,730,171	0	49,648,829	95.0	0.2	1,012,055,509	0.2	△ 65,325,338	△ 6.5
2 総務費	39,414,675,000	36,288,964,020	2,222,440,002	903,270,978	92.1	7.9	31,120,562,646	6.4	5,168,401,374	16.6
3 民生費	41,708,484,062	40,654,228,430	465,906,000	588,349,632	97.5	8.9	40,607,660,745	8.3	46,567,685	0.1
4 衛生費	23,639,606,000	21,571,820,931	846,712,000	1,221,073,069	91.3	4.7	28,560,620,259	5.8	△ 6,988,799,328	△ 24.5
5 労働費	5,506,158,000	5,224,192,025	0	281,965,975	94.9	1.1	6,905,427,228	1.4	△ 1,681,235,203	△ 24.3
6 農林水産費	45,665,962,500	34,592,673,848	10,858,839,000	214,449,652	75.8	7.6	36,602,718,957	7.5	△ 2,010,045,109	△ 5.5
7 商工費	43,962,208,000	36,995,022,826	1,832,000	6,965,353,174	84.2	8.1	51,936,957,321	10.6	△ 14,941,934,495	△ 28.8
8 土木費	82,548,491,000	55,704,062,942	26,182,768,000	661,660,058	67.5	12.2	61,110,449,776	12.5	△ 5,406,386,834	△ 8.8
9 警察費	23,518,474,500	22,940,780,382	384,771,000	192,923,118	97.5	5.0	23,057,154,306	4.7	△ 116,373,924	△ 0.5
# 教育費	92,152,867,000	90,995,151,110	110,086,119	1,047,629,771	98.7	19.9	91,167,353,350	18.6	△ 172,202,240	△ 0.2
# 災害復旧費	4,232,879,859	2,529,153,175	1,417,799,921	285,926,763	59.8	0.6	1,714,809,330	0.4	814,343,845	47.5
# 公債費	88,352,598,000	88,107,146,066	0	245,451,934	99.7	19.3	95,238,150,200	19.5	△ 7,131,004,134	△ 7.5
# 諸支出金	20,387,212,000	20,372,048,343	0	15,163,657	99.9	4.5	20,339,841,426	4.2	32,206,917	0.2
# 予備費	562,345,000	0	0	562,345,000	0.0	0.0	0	0.0	0	0
合 計	512,648,339,921	456,921,974,269	42,491,154,042	13,235,211,610	89.1	100.0	489,373,761,053	100.0	△ 32,451,786,784	△ 6.6
平成23年度	524,919,424,200	489,373,761,053	20,303,579,921	15,242,083,226	93.2	100.0				
対前年度比較	増減額	△ 12,271,084,279	△ 32,451,786,784	22,187,574,121	△ 2,006,871,616					
	増減率	△ 2.3	△ 6.6	著増	△ 13.2					

(注) 構成比については、各項目毎に四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

平成24年度一般会計の支出済額の合計は4,569億2,197万円で、予算現額に対する執行率は89.1%であり、翌年度繰越額424億9,115万円、不用額132億3,521万円となっている。

支出済額の主なものは、教育費909億9,515万円（構成比19.9%）、公債費881億715万円（同19.3%）、土木費557億406万円（同12.2%）である。

また、支出済額の合計は、前年度の4,893億7,376万円に比べて324億5,179万円（△6.6%）の減少となっている。

これは、主として、総務費が51億6,840万円、災害復旧費が8億1,434万円増加した半面、商工費が149億4,193万円、公債費が71億3,100万円、衛生費が69億8,880万円、土木費が54億639万円減少したことによるものである。

翌年度繰越額の合計は424億9,115万円で、前年度の203億358万円に比べて221億8,757万円（著増）の増加となっている。

これは、主として、衛生費が4億7,607万円、民生費が3億2,055万円減少した半面、土木費が164億3,088万円、農林水産費が43億2,810万円増加したことによるものである。

不用額の合計は132億3,521万円で、前年度の152億4,208万円に比べて20億687万円（△13.2%）の減少となっている。

これは、主として、衛生費が7億3,722万円、教育費が5億3,934万円増加した半面、商工費が25億6,670万円、労働費が4億7,875万円、民生費が3億497万円減少したことによるものである。